

神奈川県社保協ニュース

神奈川県社会保障推進協議会 【NO. 21-3】 2021年8月30日発行
 横浜市中区桜木町3-9 平和と労働会館6F TEL045-201-3900・FAX045-212-5745

全国で新型コロナウイルスの新規感染者が急増し、極めて深刻な感染爆発と医療崩壊状況となっています。感染した人の圧倒的多数が「自宅療養」を余儀なくされており、自宅で亡くなられるという痛ましい出来事が連日のように報じられています。菅内閣は、9月12日まで、神奈川県も含めて21都道府県を緊急事態宣言対象地域とし、同期限で12県をまん延防止等重点措置の対象地域としましたが、収束が見通せる状況とはなっていません。私たちは、無為無策を重ねる菅政権に対して、感染伝播の悪循環を断つための対策、医療崩壊を食い止めるための対策を求めます。

山中竹春さん当選!! 市民・野党共闘の勝利 横浜市長選

8月22日投開票の横浜市長選で、カジノ誘致ストップ・コロナ対策拡充への転換を掲げた市民と野党の共同候補・山中竹春氏が50万6392票を獲得して当選しました。菅首相が支援した前国家公安委員長の小此木八郎氏に18万票差、林文子現市長に31万票差をつけての圧勝です。

山中氏は「カジノ・コロナから横浜を救う」と立候補表明し、選挙戦をたたかいました。昨年秋に取り組んだ横浜市のカジノの是非を決める住民投票条例制定署名は、確定署名数19万3193人と法定数の3倍を超えました。住民投票条例案は、自民党・公明党の反対により否決されましたが、この運動を確信に市長選をたたかわれました。7月25日には、山中氏と「カジノ反対の市長を誕生させる横浜市民の会」が政策協定を結びました。カジノ反対の圧倒的な世論の中で、自民党候補もカジノ反対と言わざるを得ないところまで追い詰めた中での選挙でした。

市長選の期間中、神奈川県内のコロナ新規感染者は過去最多を更新し続け、症状が重くても入院できない人が相次ぎました。菅政権は、感染の急拡大を引き起こした五輪開催に反省しないばかりか、「自宅療養を基本」とする方針まで打ち出し、緊急事態宣言の延長や拡大を繰り返しました。無為無策を重ねる菅政権に対する市民からの強い怒りが渦巻く中での選挙戦でした。山中氏は、「自助努力」のコロナ対策から転換する立場を鮮明にし、ワクチン接種の促進、検査体制や医療体制などを拡充する市政の実現を訴えました。「朝日新聞」の出口調査では、新市長に一番力を入れてほしい政策は「コロナ対策」が最多で、うち46%が山中氏に投票し、小此木氏に入れたのは19%でした。コロナ対策の根本的な転換を求める市民の切実な願いが山中氏の勝利の強力な原動力になりました。

「カジノ反対の市長を誕生させる横浜市民の会」に結集する多くの団体が、山中氏の推薦や支持を組織確認し、宣伝行動、支持拡大に奮闘しました。投票率は49.05%と、前回の37.21%を大きく上回りました。私たちは、1978年から「市民の市長をつくる会」のもとで、市長選をたたかってきましたが、初めての勝利。「初めて投票した人が当選した」という人がいっぱいいます。「カジノ・コロナから横浜を救う」という明確な争点をつくり上げ、市民的な関心と共感と呼んだ市長選にできました。

山中新市長が誕生しましたが、横浜市議会は自公が多数の議会です。多くの困難はありますが、山中竹春氏と「カジノ反対の市長を誕生させる横浜市民の会」の政策協定実現に向け、力を合わせていこうではありませんか。

横浜市長選での勝利は、7月の東京都議選、4月に行われた3つの国政の補選・再選挙での共闘の候補の勝利に続くものです。来たる総選挙で政権交代実現するために、市民と野党共闘を大きく前進させようではありませんか。



候補者名	得票数	得票率 (%)
山中 竹春	506,392	33.59
小此木八郎	325,947	21.62
林 文子	196,926	13.06
田中 康夫	194,713	12.92
松沢 成文	162,206	10.76
他候補3人	121,370	8.05

コロナ禍、いのち・くらしの「危機」が迫る みんなの安心 支える社会保障を考える

中央社会保障学校 from 名古屋

8月28～29日、「コロナ禍、いのち・くらしの『危機』が迫る みんなの安心支える社会保障を考える」として、中央社保学校 from 名古屋が開催されました。中央社保学校は、2年ぶりの開催で、愛知・静岡・岐阜・三重の4県の社保協が実行委員会をつくり準備したものです。会場参加は現地の人に限られ、全国からはオンライン参加で、合計473人が参加と報告されました。神奈川県からは、オンラインで13ヶ所30人以上が視聴しました。(会場参加では、川崎社保協15人、横浜市従5人、県社保協4人など)

政治を変えるのは市民の運動の力

第1講座は、石川康宏さん(神戸女学院大学教授)が、「コロナ後の社会を切り開く」と題して講演。冒頭で、横浜市長選の結果に触れ、「横浜の市民運動の力が市長選勝利につながった。カジノ反対の住民投票条例運動を広げてきた市民が政治を変えた」と強調しました。「コロナがあぶりだした社会の課題」、「求められる新自由主義からの脱却」、「命とくらしを守る社会」の到達点についてお話しをされ、デンマークの現状について解説しました。社会を変えるために、「まともな政府をつくり日本を救おう」と、「野党共闘の強化へ、市民が声を出していく運動を」、「学習なしに個人も運動も成長しない」と訴えました。

第2講座は、神奈川の社会保障学校で講演していただいた村田隆史さん(京都府立大学准教授)が、「社会保障入門講座～『社会保障入門テキスト』を学ぶ～」を講演。「貧困・不平等の深刻化」、「社会保障はなぜ生まれてきたのか」、「社会保障の発展過程と基本原理」、「社会保障の基本原理の変更と問題点」についてお話しされました。そして、「社会保障入門テキスト」の作成に携わった、曾根貴子さん(全国保団連)、久保田直生さん(全日本民医連)とディスカッション。川崎会場の参加者は、「コロナ禍の中で戦争準備をしている自公政権の問題点を深く理解することができました」、「社会保障は私たちにとって切り離せないものだということがよくわかりました」との感想が出され、「今回のテキストの学習を改めて学習していきたい」との決意が寄せられました。
(社会保障入門テキスト1冊 550円です。県社保協に注文してください)

コロナ禍の社会保障、課題は～医療、保健所、保育、支援活動の現場から検証～

29日の第3講座は、シンポジウム。コーディネーター：長友薫輝さん(津市立三重短期大学教授)、シンポジスト：大島民旗さん(医師・大阪民医連)、塩川智代さん(保健師・名古屋市職労)、武藤貴子さん(保育士・名古屋市職労)、竹内創さん(愛労連)から、医療、保健所、保育、支援活動の現場での取り組みの実態について発言。菅政権による無為無策のコロナ対策に翻弄される実態が赤裸々に報告され、そのもとで改善、支援をすすめている活動の苦労について語られました。「なによりも当事者が声をあげられるように」、「エッセンシャルワーカーにゆとりがなければ、コロナを克服することができない」というのが、共通で語られました。「社会保障の制度、政策を改善する」ために、地域からの社保協運動をすすめていこうという決意を固められるシンポジウムでした。



75 歳以上の窓口負担 2 倍化中止の意見書「陳情」不採択に!!

8 月 26 日に藤沢市で、後期高齢者医療神奈川県広域連合議会が開催されました。傍聴は、県社保協からの参加者など全体で 10 人ほどでした。広域連合議会は、3 月と 8 月の 2 回開催され、議員定数は 20 人。8 月議会は決算議会で、コロナ禍での受診控えにより、医療費が 4.8%減少し、203 億 5 千万円余の剰余金となっていることが報告されました。白井正子議員は、「受診控えについてどのように実態把握しているのか」、「2 割化の影響による受診状況をどのように見込むのか」、「2 割化は国の負担を軽減させるもの」であり、「国に実施さないよう広域連合から国に意見書提出を」と発言し、広域連合長（鈴木藤沢市長）に見解をたしました。花上喜代志議員（横浜市・立憲・国民フォーラム）は、「2 割化により受診抑制が懸念される」、「公費負担が不十分だと思う」、「配慮措置への周知・広報」について回答を求めました。

75 歳以上の医療費 2 割化反対神奈川県実行委員会は、「高齢者のいのち・健康・人権を脅かす 75 歳以上医療費窓口負担 2 割化中止を求める意見書提出」の陳情書を提出しましたが、陳情は「不採択」とされました。

陳情は、議会運営委員会で審議し本会議に回されます。議会運営委員会では、広域連合事務局長が「令和 4 年に団塊の世代が 75 歳以上になり、全世代型社会保障制度の維持、現役世代の負担を軽減するためには、高齢者に可能な範囲で負担していただかなければならない。」「来年の 10 月以降の実施に向けて、受診控え対策、重症化予防、月 3000 円以上の負担増を抑える対策など、広報・周知徹底などを早期に行うよう国に求める」ので、中止を求める意見書は出さなくていいというもの。また、丸山治章議員（逗子市・自由民主党）は、「現役世代の負担の軽減は必要。参議院の付帯決議で配慮措置についての周知・広報の徹底を言っている」とし、他の発言はなく、「不採択」として本会議に提出しました。

本会議では、白井正子議員（横浜市・日本共産党）が「いのち・健康・人権を脅かす、影響・被害が甚大と見られると中止を求めている。国会へ中止を求める請願署名も取り組まれ、県内で大きな運動となっており、運動を後押しするための採決は当然」と賛同の発言をしましたが、他の議員からの発言がなく「不採択」に同意しました。

75 歳以上医療費窓口負担 2 割化中止を求める請願書名は、約 7 万枚を印刷し、運動を開始しました。署名を大きく広げながら、各市町村の 12 月議会に向けて、国への意見書提出を求める陳情採択運動をすすめましょう。

後期高齢者医療 神奈川県広域連合議会



白井議員と傍聴参加者

＜ 9 月の主な行動・会議日程 ＞

- 9 月 1 日（水）中央社保協運営委員会 13:30 医療労働会館会議室（ZOOM 会議）
- 9 月 2 日（木）県社保協医療保険改善委員会 10:00（ZOOM 会議）
- 9 月 3 日（金）県社保協第 3 回常幹 14:00 建設プラザ 3F 会議室 or（ZOOM 会議）
- 9 月 4 日（土）介護保険のいまと未来を考えるつどい 13:30 建設プラザ 2F ホール+（オンライン）
消費税をなくす会緊急学習会 13:30 神商連会館 4F 会議室+（オンライン）
- 9 月 5 日（日）いのちまもる緊急行動・全国いっせい宣伝 11:00 桜木町駅前
- 9 月 8 日（水）神奈川生存権裁判・証人尋問 10:30 横浜地裁⇒報告集会 16:00（年金者組合会議室）
- 9 月 9・10 日 全県一斉宣伝行動・西湘地域キャラバン 8:50 建設プラザ
- 9 月 10 日（金）県社保協第 3 回幹事会 14:00（ZOOM 会議）
- 9 月 12 日（日）神奈川労連定期大会 13:30 横浜市従会館
- 9 月 13 日（月）神奈川年金違憲訴訟・証人尋問 13:30 東京地裁
- 9 月 15 日（水）税と社会保障一体改革反対・全県一斉宣伝行動（この日以前に）
高齢期運動連絡会幹事会 14:00 年金者組合会議室
消費税廃止各界連宣伝行動 14:00 伊勢佐木町有隣堂前
- 9 月 16 日（木）国民大運動実行委員会世話人団体会議 9:00 平和と労働会館 4F 会議室
中央社保協・関東甲ブロック会議 15:00（ZOOM 会議）
- 9 月 17 日（金）県社保協介護保険改善委員会 15:30（ZOOM 会議）
- 9 月 21 日（火）県民要求連絡会事務局団体会議 13:00 県庁地下会議室
- 9 月 22 日（水）神奈川国会行動 10:00 国会議員会館
- 9 月 23 日（木）日本高齢者大会 in ながの 10:00（オンライン視聴）
- 9 月 24 日（金）消費税ネットワーク・シンポジウム 18:30 建設プラザ 2F ホール+（オンライン）

インボイス制度を 学ぼう、考えよう!!

9月24日、消費税ネットは、インボイス制度のしくみとその問題点を考えるシンポジウムを開催します。

10月1日から、インボイス制度の実施に伴う適格請求書発行事業者になる登録の申請が始まります。インボイス制度はどういうものなのか、消費税とどうかかわるのか、国民の中に理解が広がっていないのが現状です。わからないまま、登録の申請が始まろうとしています。

インボイス制度の目的は「取引の透明性を図る」とこととされますが、売上1000万円以下の多くの免税事業者が打撃を被ると言われています。実務に係る煩雑さに、税理士会などは「事業者及び税務官公署の事務に過度な負担を生じさせる」と見直し・延期を主張しています。

消費税ネットの世話人の益子良一税理士がインボイス制度のしくみを話し、中小業者、農業者、建設の一人親方、開業医、軽運送事業者のみなさんから問題点を報告して、インボイス制度について深めていきます。

会場参加とZOOM参加併用で開催します。こぞっての参加をお願いします。

ZOOMでの視聴は、視聴するEメールアドレスで、s-net@doc-net.or.jp に送信してください。

消費税ネット シンポジウム

インボイス制度の 問題点と打開策 を考える

9月24日(金) 18:30~20:00

(18:00受付開始)

18:30~19:00

主催者あいさつ

「インボイス制度のしくみと問題」

●益子良一さん

(消費税ネットワーク世話人・
元東京地方税理士会副会長)



19:00~20:00

各団体からインボイスの問題点と運動の報告
各政党のビデオメッセージなど

オンライン
学習会

+

建設プラザ
2Fホール

消費税を含めた税のあり方を考えるネットワーク(略称:消費税ネット)
神奈川県保険医協会内 TEL 045-313-2111

9.23「日本高齢者大会 in ながの」WEB 参加をすすめよう!!

第34回日本高齢者大会が、9月23日(木・祝)に長野市で開催されます。コロナ禍ですが、各団体で、目標をもって高齢者大会への参加をすすめましょう。

神奈川県からは、オンライン(Web)での参加です。

＜神奈川県からの参加のしかた＞

各組織に送付の参加申込書を提出してください。

(1) 以下の5会場に参加する

- ①年金者組合神奈川県本部会議室 全体会・第①講座
- ②建設プラザかながわ4F 会議室 全体会・第②講座
- ③戸塚区民活動センター会議室 全体会のみ
- ④うしおだ総合ケアセンター会議室 全体会・第①講座
- ⑤北央医療生協本部会議室 全体会のみ

(2) 個人で参加する

前記の会場への参加ができない方、午後の学習講座が第③～⑤を希望の方は、個人での参加をお願いします。各組織に送付の申込書に、E メールアドレス等必要事項を記入し提出してください。E メールでZOOMの接続案内をお届けします。

送信先⇒info@kanagawa-shahokyou.jp



まちから村からの連帯で ひとりぼっちの高齢者をなくそう

日本高齢者大会 in ながの

県内は会場参加 県外はWEB参加

コロナ禍の今こそ！憲法をいかにのちとくらし・人権と環境を守り
平和で福祉を大切にする社会を みんなの知恵と協同で！

日時 2021年9月23日(木・祝日) 10:00~16:00

会場 長野市 JA長野県ビルアクティーホール・会議室

参加費 1日2,000円／半日1,000円

10:00~12:30 全体会 記念講演・文化行事など

【記念講演】政治学者 中野晃一が語る

「コロナ後のめざすべき社会は？その実現のために必要なことは？」

講師：政治学者、上智大学国際教養学部教授 中野 晃一氏
プロフィール：1970年、埼玉県生まれ。東京大学・文学部・哲学科、オックスフォード大学哲学・政治学専攻、
プリンストン大学政治学専攻博士課程修了。東京大学講師を経て現職。上智大学国際教養学部長。



13:30~16:00 学習分科会(5講座)

- 第①講座 スペシャル対談 小森陽一 浜矩子
- 第②講座 自己責任論を斬る 長友薫輝
- 第③講座 満蒙開拓記念館 松代大本営 について聞く
- 第④講座 原発事故から10年、フクシマの今 伊東達也
- 第⑤講座 コロナ感染と高齢者人権条約 井上英夫

主催：第34回日本高齢者大会 in ながの 中央実行委員会/長野実行委員会 後援：長野県 長野市

〒166-0011 東京都千代田区千代田5-48-504 TEL FAX:03-3338-6654 〒380-0814 長野県長野市高橋町1570 TEL:026-234-1476 FAX:026-234-1493